

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

九州大学臨床・腫瘍外科での国内外科研修を終えて

広島大学外科学

岡田 健司郎

この度、日本臨床外科学会の国内外科研修にて、2023年10月16日から10月27日までの2週間、九州大学臨床・腫瘍外科学教室で外科研修をさせていただき貴重な機会を賜りましたので、ここにご報告致します。

私は広島出身で、2010年に広島大学を卒業し、2012年に広島大学外科学教室に入局、関連病院での修練を経て2016年に大学院に入学し、「膵癌におけるリンパ節微小転移が予後に与える影響について」の研究にて学位を取得後、現在は同教室にて臨床・研究に勤しんでおります。臨床では肝胆膵外科手術を中心に、特に昨年7月からロボット支援下膵手術を導入し、低侵襲外科手術にも積極的に取り組んでいます。今回、本研修制度の応募に際し、国内有数の低侵襲膵手術・ロボット支援下膵手術の症例数を誇る、九州大学臨床・腫瘍外科で是非研修させていただきたいと強く希望し、応募致しました。

九州大学では2週間の研修期間で、ロボット支援下膵切除術4件（膵頭十二指腸切除2件、尾側膵切除術1件、warshaw手術1件）、開腹膵切除術2件（膵頭十二指腸切除、尾側膵切除）、腹腔鏡下胆嚢摘出術1件と、短期間でとても多くの手術を勉強させていただくことができました。ロボット支援下手術は、周囲機器のセッティングも細かく煩雑ですが、正確に迅速にセットされ、術者・助手だけでなく、周辺医療スタッフとの連携がとてもスムーズでした。九州大学でのロボット支援下膵切除は、境界悪性膵腫瘍だけでなく、膵癌にも適応拡大されていました。精緻で洗練された手術手技は然ることながら、特に、膵頭部癌に対するmesenteric approachや膵体尾部癌に対するRAMPSなど、oncological benefitを意識された国内随一の手術手技を勉強させていただくことができました。また、膵頭十二指腸切除における膵消化管吻合や胆管空腸吻合では、拡大視効果と多関節機能を活かし、いとも簡単に正確に吻合され、患者の術後経過も安定していたことがとても印象的でした。また、九州大学の定型化された手技として、膵頭十二指腸切除におけるleft-side approach for wide mobilization of the pancreas with complete dissection of the Treitz ligamentや、尾側膵切除におけるcranial-to-caudal approach with identification of Georta's fascia など、直近にpublishされた論文を拝読し、同時に術中に解説していただきながら手術手技を理解することができ、大変有意義でした。

開腹手術は、局所進行膵癌に対する化学療法奏効後のconversion surgeryとしての尾側膵切除と、切除可能膵癌に対する術前化学療法後の膵頭十二指腸切除でした。どちらの症例も癌腫が主要血管に近接していましたが、メッチェン鉗を細かく使用され、主要血管を温存しつつ、腫瘍からのマージンも保ちながら丁寧に手術されていました。助手の機会も多く与えていただき、直接的に手術を経験することができ、大変勉強になりました。

毎週火曜・木曜の朝、病棟にてカンファレンスが行われていましたが、術前症例提示や手術報告など、臨床・腫瘍外科学の全チームで詳細に議論されていました。驚いたことに、すべて英語で行われており、中には学生も英語で症例提示されていて、九州大学のレベルの高さにとっても感心しました。病棟回診は、朝夕必ずチーム回診が行われており、患者様の病状把握・治療方針についてチーム全体で意思統一されていて、理想的なチーム医療を実践されていると感じました。

また、2週間の研究期間中、九州大学近隣の色々な“名所”に連れて行っていただきました。初日の

歓迎会でもつ鍋，大学関係者御用達の鶏肉料理，手術終了が遅くなった日の夜の元祖長浜ラーメン，中洲の鉄なべ餃子，最終日の送別会での焼肉，どの“名所”もとても印象的で，お食事大変美味しかったです．お食事中的フランクな話題の中には，九州大学のあれこれ，実は…だった，え!?という面白いお話や意外なお話をする事ができ，とても親近感が湧き，とても嬉しかったです．研修終了の翌週に開催されたJDDW神戸でも，発表日前日にお食事をご一緒する機会に恵まれ，研修期間終了後も交流を継続いただけていることに大変感謝しています．今後とも，どうぞよろしくお願い致します．

最後になりますが，この度，私を優しく丁寧に，親身にご指導して頂きました九州大学臨床・腫瘍外科の中村雅史教授，肝胆膵外科グループの皆様にご心より御礼申し上げます．また，このような素晴らしい研修機会を与えてくださった日本臨床外科学会の万代恭嗣会長，国内外科研修委員会の高山忠利委員長，同委員会関係者の皆様，ご推薦いただきました広島県支部長の浅原利正先生，外科学の高橋教授，上村准教授，快く研修に送り出して下さった教室の医局員の皆様に，この場をお借りして深く感謝申し上げます．